

事業所における放課後等デイサービス 自己評価・改善目標（公表）

公表：令和4年 2月 14日

事業所名 井原あゆみ園

| | | チェック項目 | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|---|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 法令を順守した設備であると認可を受けています。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 法令を順守した人員配置を行なっています。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 安全性を配慮し、危険と思われる個所にはクッション材を設置しています。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 定例の職員会議を実施し、職員全員がすべての利用児について把握できるよう話し合いを行っています。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 保護者によるサービス評価を受け、改善等につなげています。多機能型事業所のため、利用回数を増やすことが困難になっています。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 利用児の全家庭への配布を行ない、園内にも掲示します。また、3月中にホームページで公開する予定です。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 現在は外部からの第三者評価は行なっていません。今後必要性に応じ検討をしていきます。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 発達支援に関する専門的研修は、指導員全員が様々な分野に適宜出席できる機会を設けています。今年度はコロナウイルス感染症拡大防止策のため、リモート会議、研修を行いました。研修後には、職員全員が内容を把握できるよう研修報告を行っています。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 相談支援専門員からの利用サービス計画、事業所内アセスメント等をもとに作成しています。職員間でしっかりと情報共有を行っています。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 医療機関の発達検査、及び診断書を使用しています。標準化されたアセスメントツール（発達検査）は、児童発達支援事業（幼児期）にて事業所内で使用しています。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 各グループの担当指導員が中心となり立案し、内容について他指導員と検討しています。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 粗大運動、微細運動、社会生活スキル、ルールのある集団遊び、ソーシャルスキルの5本の大きな柱を基に活動プログラムを組んでいます。子ども達の興味関心に添い、楽しみながら学べるよう、工夫しています。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 本園は、児童発達支援と放課後等デイサービス事業を行なう多機能型事業所のため、長期休暇時の時間延長については、十分な対応ができづらい状況です。だからこそ長期休暇時にはグループの発達課題に合わせた社会的経験ができるよう、買い物・調理活動、ボランティア受け入れ、地域資源を活用した体験活動、公共交通機関を使っての社会活動等、様々な余暇プログラムを工夫して立てています。 |

| | | | |
|--------------|---|--|---|
| 適切な支援の提供 | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | <ul style="list-style-type: none"> 学年や発達課題によって異なりますが、制作活動においては個人で作成し、指先の巧緻性や道具の操作性を高め、運動活動では技能の向上のほか、集団のなかで子どもが相互に協力し合い、ルールに沿う社会性も同時に高めていくよう、設定しています。 情緒面や家庭の状況等についても情報共有を丁寧に行い、個別活動・集団活動の両方の支援内容を取り入れるよう工夫しています。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | <ul style="list-style-type: none"> 開始前後のミーティングにて、子どもの発達段階、活動における達成目標、課題における取組の状態について、指導員間で共通理解を図っています。また活動に沿えない場合も想定し、役割分担の確認、対策を考えて打ち合わせをしています。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | <ul style="list-style-type: none"> 毎回、一人ひとりの発達段階に合わせて記録し、翌回の課題設定に反映するほか、指導員の支援方法にもフィードバックしています。 多機能型事業所のため、発達状態や達成目標が異なる多数の子どもが日々利用されていることから、記録作成に時間がかかっている現状があります。今後全般的な業務改善を検討していきたいと考えています。 |
| | ⑱ | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | <ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援管理責任者が半年に1度保護者の方にモニタリングを行ない、計画案を見直しています。また、ケース会議等がおこなわれた場合には計画を見直し、変更を随時行っています。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | <ul style="list-style-type: none"> ガイドラインに示されている基本活動に沿って行なっています。地域との交流については、在籍校において日頃から交流機会があるためか、前回と同様児童館や放課後児童クラブ等との交流について保護者からの要望はありませんでした。今後も地域や学生のボランティアとの交流は継続して行なっていきます。 |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | <ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援管理責任者、もしくは担当指導員で参画しています。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | <ul style="list-style-type: none"> 送迎サービスを行っていないため、行事予定や下校時間をその都度確認する対応は必要としておりません。 お子様や家庭の状況によって、発達支援に関し情報共有が必要な場合はケース会議を行なっています。 年間行事予定表は年度初めに提出をお願いしています。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | <ul style="list-style-type: none"> 事業上、該当しません。 但し内疾患がある場合、保護者にその日の体調確認や活動量の調整等を行なっています。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き継ぎを行ない、お子様の発達状態についての情報共有に努めています。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 現在、障害福祉サービス事業所へ移行（18歳以降）する対象児がおられません。但し必要になれば、児童引継表の作成、引継のためのケア会議等の実施、情報の提供は可能です。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | <ul style="list-style-type: none"> 近隣市町村にあるセンター、事業所等との連携のほか、専門機関へ相談を行い助言を受けています。 |

| | | | |
|--------------|----|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | ②⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | <ul style="list-style-type: none"> 現在、月2回、平日授業後の時間帯の利用であるため、実施は難しいと考えております。また在籍されている小学校において、十分な機会に満たされているとも感じ、井原あゆみ園での療育活動として、今後実施する予定はしていません。但し、必要な状況になれば検討していきたいと考えております。 |
| | ②⑦ | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか | <ul style="list-style-type: none"> 幼児期・学童期のみでなく、生涯に渡る福祉サービスの知見を持つことで、井原あゆみ園の子ども達に先を見通した療育支援ができるよう努めています。協議会の会員であるため、積極的に参加し情報交換を行っています。 |
| | ②⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | <ul style="list-style-type: none"> お迎えの時間に、毎回その日の療育の活動、及びそれぞれのねらい、子ども達の姿をお伝えしています。 相談シートの設置、電話相談、別日を設けての面談等、保護者の方にとって相談しやすい機会作りに努めています。 |
| | ②⑨ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行なっているか | <ul style="list-style-type: none"> 本園においてはペアレント・トレーニング等の講座や勉強会は行なっておりませんが、市内、近隣市町村等で行なわれる講演会・勉強会について、保護者にお知らせをし、積極的に情報提供を行なっております。 |
| 保護者への説明責任等 | ③⑩ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | <ul style="list-style-type: none"> 契約時に説明を行なっています。 年度初めや変更がある場合には、利用者全家庭に書面でお知らせしています。質問があればその都度説明をしています。 |
| | ③⑪ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか | <ul style="list-style-type: none"> 個別懇談(個別支援計画)等の定期的な時期のほか、保護者からの申し出により、その都度対応しています。その場での対応が難しい場合であっても翌週や、別日を設けての対応をしています。また「相談シート」も設置して対応しています。 |
| | ③⑫ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | <ul style="list-style-type: none"> 外部講師を招き、気軽に参加できるような茶話会を開催していますが、今年度はコロナ感染予防対策のため開催を見送りましたが、今後は状況を考慮し開催の有無を決定していきます。 |
| | ③⑬ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | <ul style="list-style-type: none"> 苦情受付担当者及び苦情解決責任者の掲示、意見箱の設置をしています。苦情があった場合には適切に対応するよう努めています。利用されているお子様の個人情報に関わる場合には、苦情及びその対応等については公開していません。 |
| | ③⑭ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | <ul style="list-style-type: none"> 定期的な会報として、園だより(毎月1回)にて、活動概要や行事予定をお知らせしております。避難訓練を実施するグループは、活動欄に記載しお知らせしています。園だよりは各家庭に1部ずつ配布しています。 |
| | ③⑮ | 個人情報に十分注意しているか | <ul style="list-style-type: none"> 契約時に情報提供同意書への署名をお願いしています。 また実際に学校等外部機関に情報提供をする場合には、児童連携票を作成し、どのような情報を開示するかを、保護者に同意を得るように対応しています。 子どもの療育記録等に関しては、法人事務所内にて適切に管理しています。 子ども達の活動写真掲示については、保護者に同意を得た上で室内へ掲示しました。 |

| | | | |
|---------|----|---|--|
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | <ul style="list-style-type: none"> ・ 発達特性に合わせ、視覚的手掛かりを多く利用して伝え、子ども達が理解しやすいよう支援しています。 ・ 園だよりの活動欄を、各グループに合わせた表記方法に変えています。(平仮名のみ、平仮名+片仮名、平仮名+学年で習う漢字、ふりがな付) |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や学生ボランティアの受け入れは今後も継続し、事業所の周知・理解を図っていきます。 ・ 今年度はコロナウイルス感染拡大防止に十分配慮し、交流行事を行いました。今後状況を考慮しながら計画を立てていきます。 |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各マニュアル類を策定し、マニュアルに応じた対応ができるよう、職員に周知すると共に、室内にも設置しています。 ・ 緊急時対応、感染症対策は行っていますが、その他の対応について、各マニュアルに沿って訓練を実施していきます。 ・ 保護者についてはマニュアルの徹底が不十分なため徹底し、改善していきます。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | <ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回「地震、水害、火災、不審者対策」等を行なっています。避難訓練の実施要項は園だよりに記載しています。 ・ 各マニュアル類・避難経路等は、室内にも設置しています。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | <ul style="list-style-type: none"> ・ 県による虐待防止・権利擁護研修を毎年受けています。また事業所内研修も同時に行ない、指導員の意識向上に努めています。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達の年齢的に、身体拘束を行なうような対応は最大限避けるべきと考えていますが、他傷行為等、周囲への影響・危険性からやむを得ない場合には、あらかじめ保護者との話し合いの上で、支援計画に記載し対応します。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約時、児童調査票へのアレルギーの有無を記載していただき、確認をとっています。 ・ 該当児には、おやつ作り等の活動時には、食材について保護者に再度確認を取り、除去するよう対応しています。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒヤリハット事例集を作成しています。報告後には必要に応じて即座に対応をし、職員間で共有、再発防止に努めています。 |
| その他 | ④⑭ | | |